

日東紡グループ 個人投資家説明会

証券コード：3110

2022年1月12日

1. 日東紡グループの概要

会社概要

経営理念

日東紡グループは「健康・快適な生活文化を創造する」企業集団として社会的存在価値を高め、豊かな社会の実現に貢献し続けます。

- 取締役代表執行役社長：辻 裕一
- 創 立 ： 1923年 4月〔創立99年目〕
- 本社所在地 ： 福島県
- 売上高（2020年度）： 787億円
- 営業利益（2020年度）： 60億円
- 上場取引所 ： 東証 1 部（ガラス・土石）
〔4月4日より プライム市場〕

沿革



- 1923 日東紡績株式会社 創立
- 1938 グラスファイバーの工業化 日本初
ロックウールの製造開始 日本初
- 1949 グラスウールの製造開始 日本初
(パラマウント硝子工業株式会社)
- 1969 プリント配線板用ガラスクロス発売開始
- 1986 免疫系体外診断用医薬品へ参入

繊維：
絹糸を使った繊維事業が祖業

グラスファイバー：
「何でも繊維にしてみよう」の
モットーで、ガラスを繊維へ

ライフサイエンス：
「次世代を担う化学は生物化学
である」の考えにより、
体外診断薬事業に参入

日東紡グループの製品

暮らしと社会を支える 縁の下のチカラ持ち。

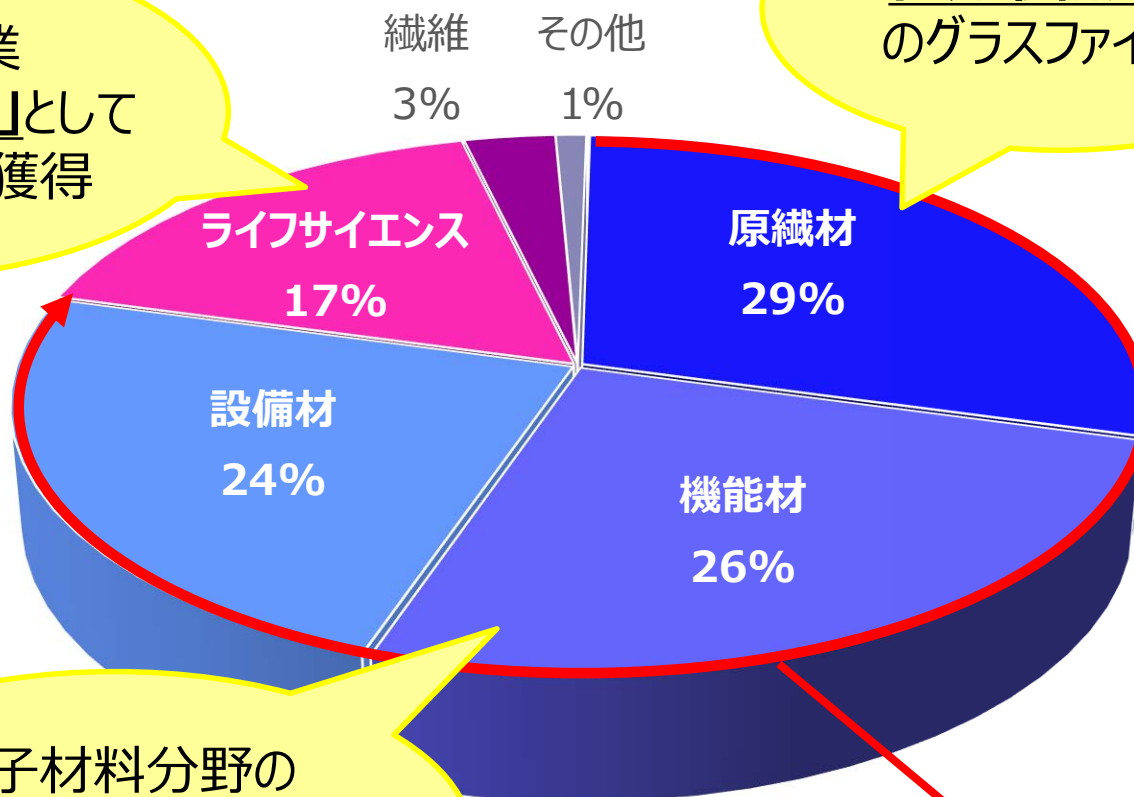
毎日使う身近なものから産業インフラまで、
日東紡グループの製品は、街中の至るところで使用されています。
生活をもっと便利にするために。
安心をもっと強固にするために。
日東紡グループの製品は、今日も見えないところで
皆さまの暮らしと社会をチカラ強く支えています。

■ グラスファイバー事業 ■ ライフサイエンス事業 ■ 繊維事業



事業別売上構成比（2020年度）

メディカル事業
「免疫のニットボー」として
確固たる信頼を獲得



世界最細レベル
のグラスファイバー

電子材料分野の
高機能ガラスクロスで
グローバルNo.1

グラスファイバーが全体の約8割

グラスファイバー 原織材事業

特徴あるグラスファイバーを
電子材料用途や強化プラスチック用途などに幅広く提供しています

ガラスヤーン



電子材料⇒ 機能材事業

産業資材⇒ 設備材事業

ガラスクロス材料



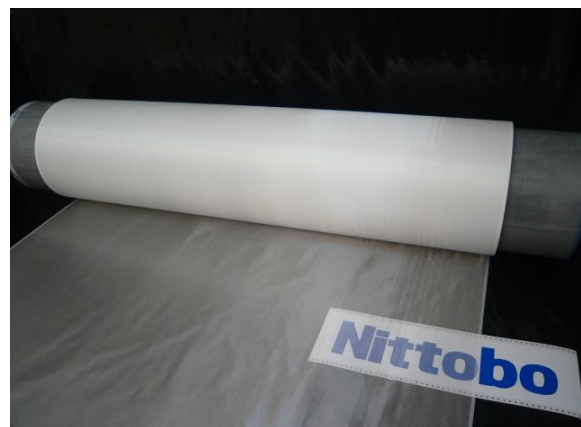
複合材用グラスファイバー



グラスファイバー 機能材事業

ガラスヤーンで織ったガラスクロスを、データセンター・基地局などのインフラからPC・スマートフォンに至る電子デバイスまで、幅広い電子材料用途に提供しています

電子材料用ガラスクロス



主な用途



プリント配線基板
(マザーボード、半導体パッケージ)



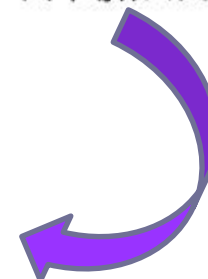
スマートフォン



基地局



データセンター



グラスファイバー 設備材事業

グラスファイバー・グラスウールを
産業資材用途・建設資材用途に提供しています

産業資材用グラスファイバー



主な用途



グラスウール



主な用途



- ◆断熱材として省エネに貢献
- ◆グラスウール製造原料の80%以上がリサイクルガラス

ライフサイエンス事業

メディカル事業

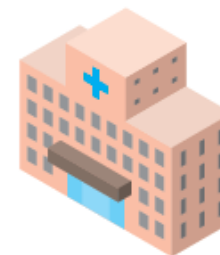
体外診断用医薬品は健康診断や人間ドック、病院での受診の際に用いられる検査薬で医療・検査機関に提供しています



主な用途

医療機関

- ・診察
- ・健康診断
- ・人間ドック



スペシャリティケミカル事業

独自性の高い機能性ポリマーを幅広い用途に提供しています



主な用途

インクジェットプリンター助剤
水処理剤
製紙、金属加工助剤など

飲料事業

プライベートブランドのOEM生産を中心に清涼飲料水を提供しています



主な用途



繊維事業

衣服のシルエットを整える接着芯地やロングセラー商品
「日東紡の新しいふきん®」を提供しています

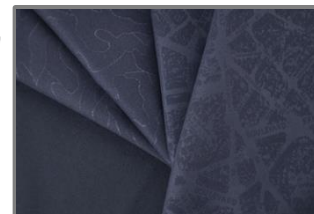
接着芯地



主な用途



アパレル



日東紡の新しいふきん®



60年を超えて愛され続けるロングセラー商品

- ◆ 高い吸水性
- ◆ 滑らかな拭き心地
- ◆ 透明なグラスも毛羽がつかずに拭きあがる

 LONG LIFE DESIGN

2. 日東紡グループが目指す姿
『Big VISION 2030』
&
新中期経営計画（2021～2023年度）

～全てのステークホルダーから「日東紡でよかった」と
思われる企業グループを目指す～

2030年にありたい姿 『Big VISION 2030』

持続可能な社会実現のために、
「環境・エネルギー」「デジタル化社会」「健康・安心・安全」に貢献する
グローバル・ニッチ No.1を創造し続ける企業グループ

環境・エネルギーに貢献する
製品・サービスの提供

デジタル化社会に貢献する
製品・サービスの提供

健康・安心・安全に貢献する
製品・サービスの提供

全てのステークホルダーから「日東紡でよかった」と思われる企業グループを目指す

想定される事業環境と当社事業への影響（～2030年）

企業としての社会的責任
SDGs・ESG経営の実現

地球温暖化・環境問題の
深刻化
循環型社会の形成・
法規制化の加速

スペシャルガラス（低誘電・
低熱膨張）の需要増

超スマート社会の到来
通信の高速化 5G/6G
AI技術の進化・
IoT時代の到来

予防医療の充実・
健康促進マインドの高まり

社会構造問題
少子高齢化（国内）
人口問題等

前中期経営計画レビュー：成果と今後の課題

前中計（2017～2020年度）の成果

□ 高付加価値戦略の推進・将来の成長基盤の構築

- ✓ グラスファイバー事業：スペシャルガラスの生産体制の拡充
- ✓ メディカル事業：戦略的提携やM&A推進による
グローバル・バリューチェーンの強化

□ 総合研究所の設立により中長期の研究テーマ推進体制整備



新中計（2021～2023年度）以降の課題

□ 成長投資の成果の刈取り

□ 不採算事業の見直し

繊維事業・グラスファイバー複合材事業の構造改革の実施

□ 事業基盤の“強靱性”確保

2030年に向けた基本戦略

前中計
2017-2020年度

変革と創造への「挑戦」

新中期経営計画
2021-2023年度

変革と創造の「実現」

Big VISION
2030

グローバル・ニッチ No.1

成長基盤の構築

設備投資 (M&A含む)
(590億円/4年)

成長戦略の
実践

高付加価値商品で更なる
事業の成長を創出

経営基盤の
強化

筋肉質の事業体への進化
(レジリエンス確保)

環境課題への
取り組み強化

持続可能な社会実現に向けた
環境問題への真摯な取り組み

変革を起こす
人財の育成

変革を生み出す人財・
組織・仕事環境の醸成

持続可能な社会実現
のために、
「環境・エネルギー」
「デジタル化社会」
「健康・安心・安全」
に貢献するグローバル・ニッチ
No.1を創造し続ける
企業グループ

全ての
ステークホルダーから
「日東紡でよかった」
と思われる
企業グループを目指す

財務目標

	2020年度 実績	2023年度 新中計目標
売上高	787億円	1,000億円
営業利益	60億円	140億円
EBITDA (EBITDAマージン)	123億円 (16%)	250億円 (25%)
ROE	8.4%	10%
自己資本比率	53.7%	55%
設備投資	590億円 4年累計(M&A含む)	450億円 3年累計

3. 成長テーマ

グラスファイバー事業：電子材料用途

グラスファイバー事業の強み

極細ヤーン

世界で最も細いヤーン：
小スペースでの基板設計に貢献



電子機器の小型化、薄型化



スマートフォン

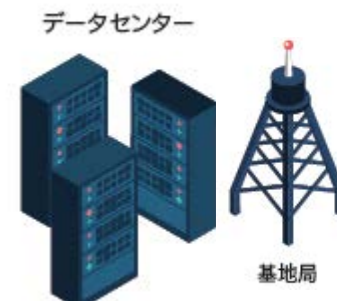
スペシャルガラス

NEガラス

低誘電特性：
高速での伝送スピードに対応



データセンター・5Gなど
高速大容量処理

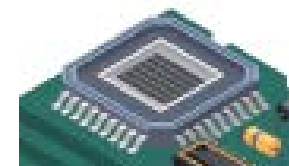


Tガラス

高強度、低熱膨張：
高速処理時の発熱に耐え、
膨張しない

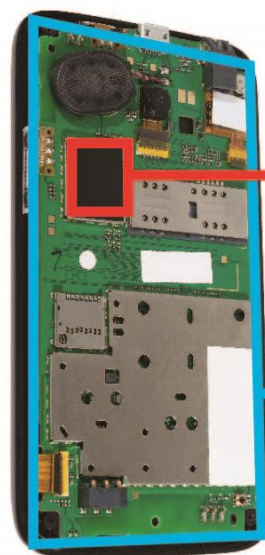


高速化・高機能化する
半導体パッケージ基板に
不可欠



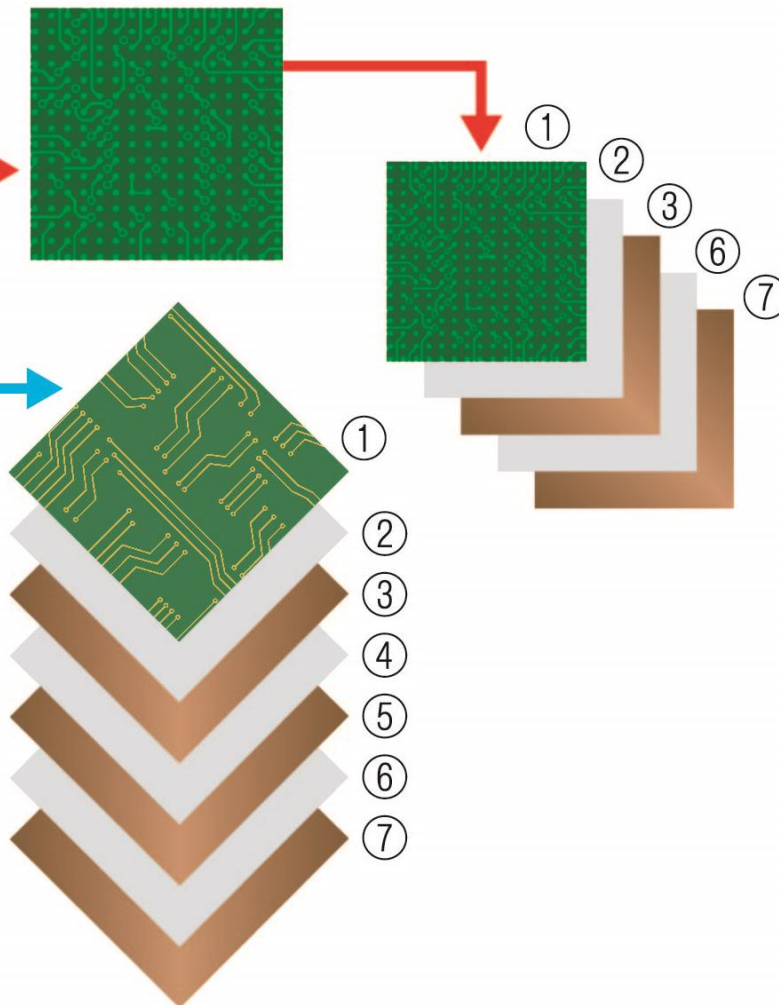
半導体パッケージ基板

ガラスクロスの使用イメージ



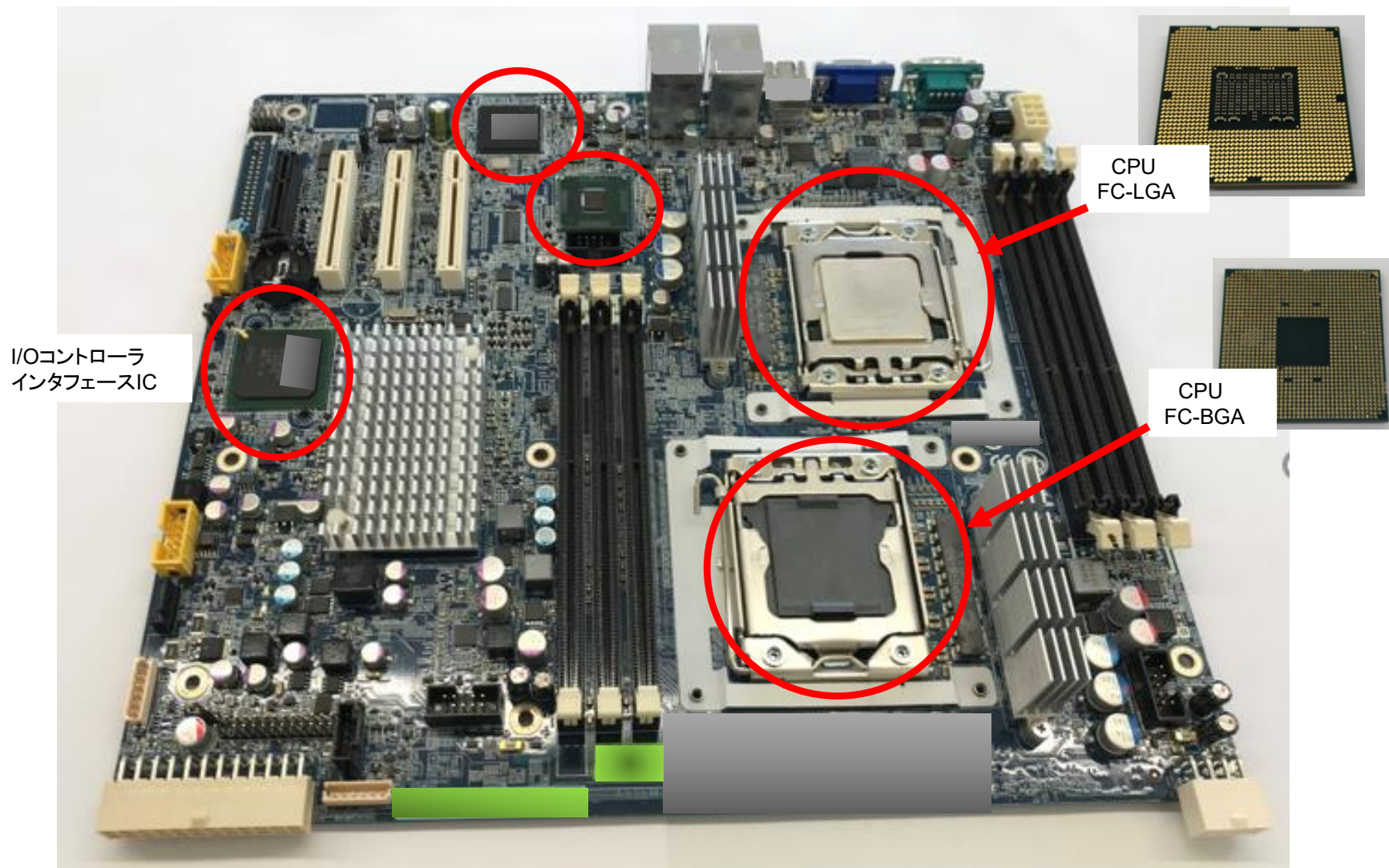
半導体
パッケージ用基板

マザーボード



- ①表層回路
- ②絶縁層 (レジン含浸ガラスクロス)
- ③内層回路
- ④絶縁層 (レジン含浸ガラスクロス)
- ⑤内層回路
- ⑥絶縁層 (レジン含浸ガラスクロス)
- ⑦表層回路

マザーボード・半導体パッケージ基板

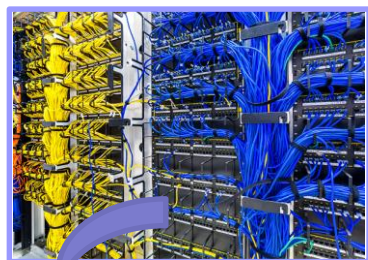


用途別 グラスファイバー種類

データセンター

基地局

エッジ機器



マクロセル



>5G

スモールセル

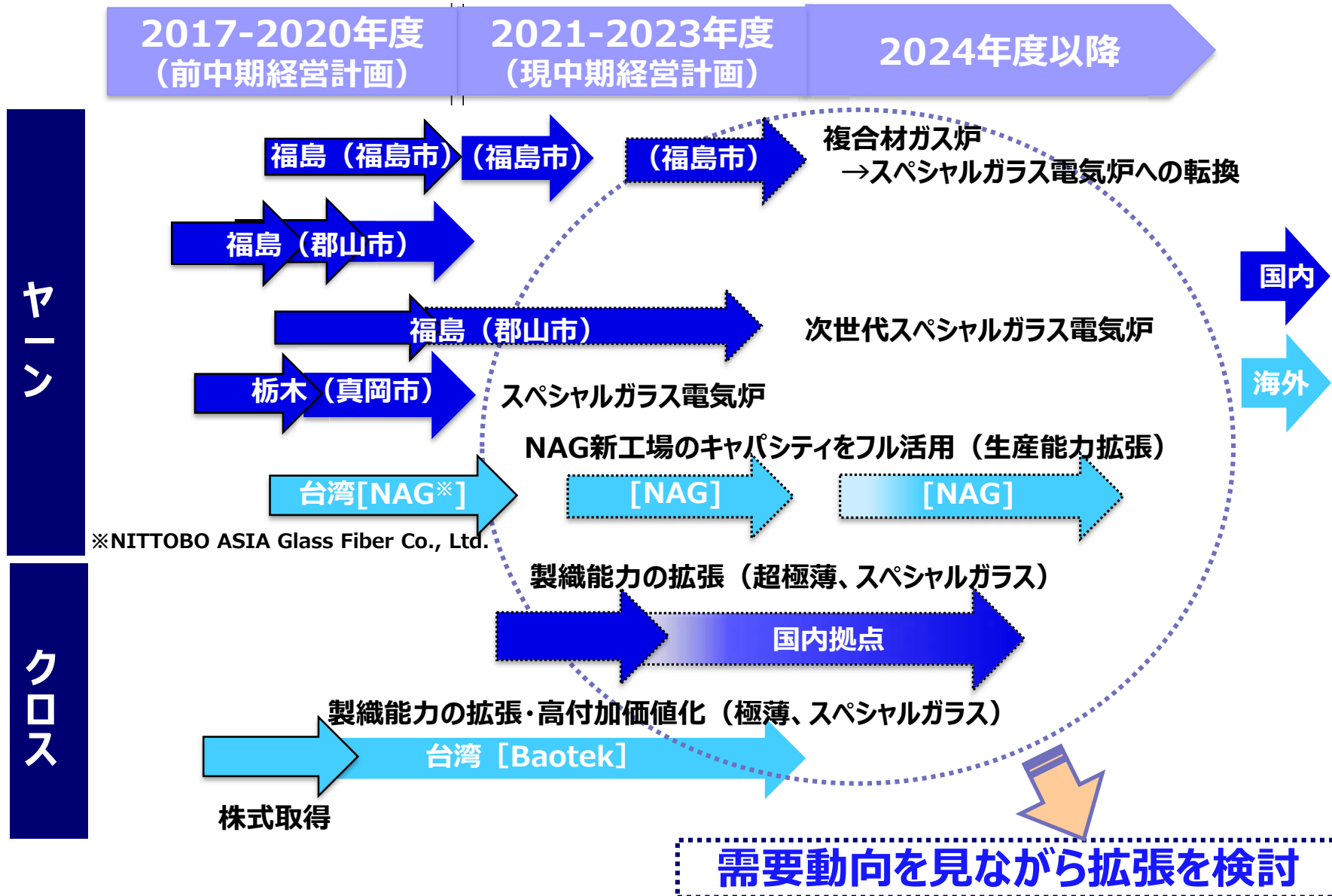


移動端末

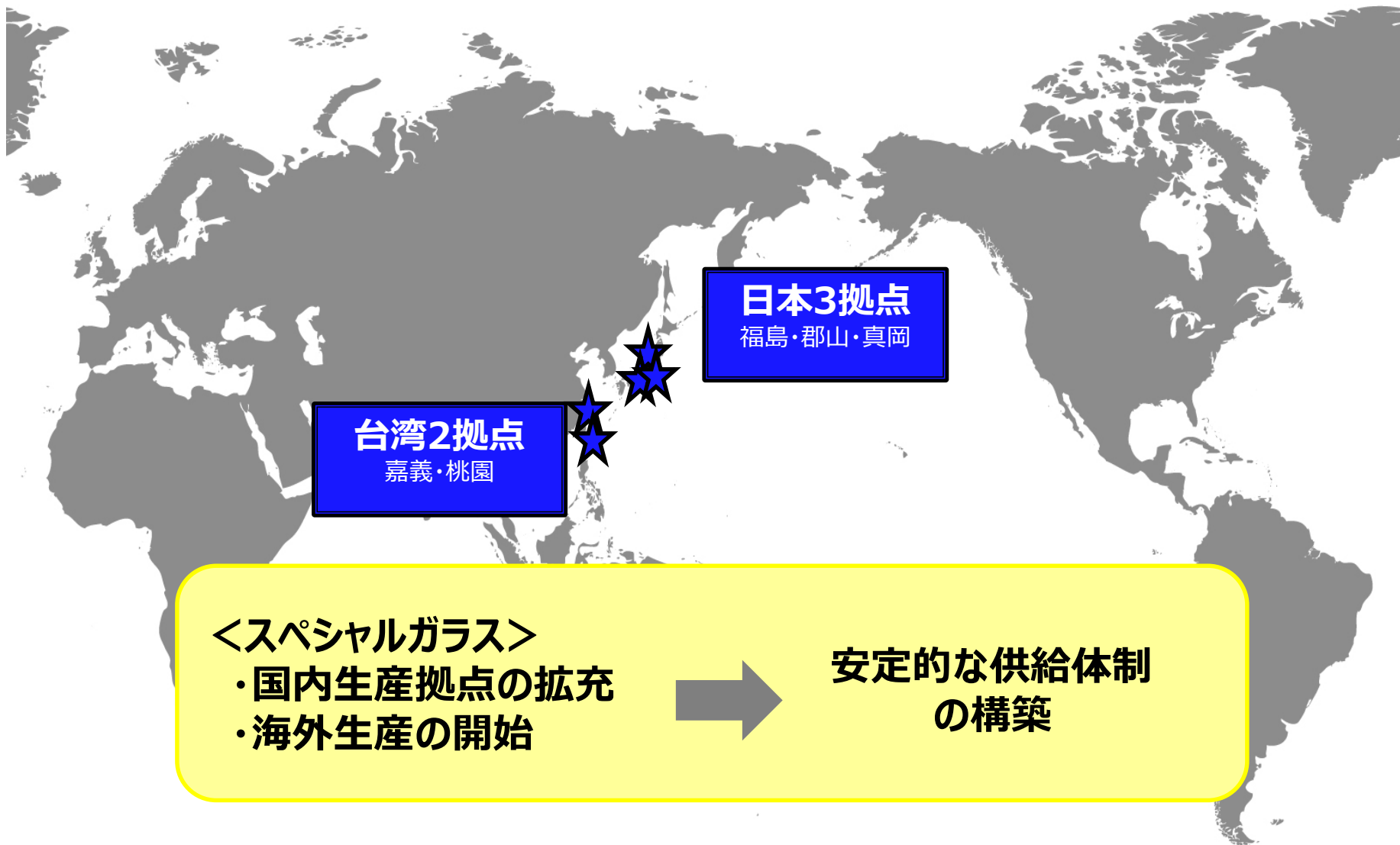


		半導体パッケージ基板		マザーボード	アンテナ 部位
		CPU/GPU	メモリ		
通信 インフラ	データセンター・基地局 (スイッチ、ルーター、サーバー)	T	NE	NE/NER	
エッジ 機器	スマートウォッチ	SiPモジュール基板⇒ 超極薄E			
	スマートフォン	T	T	極薄E	極薄NE
	タブレット・モバイルPC	T	NE	E	
	デスクトップ・ノートPC	E	E	E	

スペシャルガラス生産体制の構築



スペシャルガラス 生産拠点

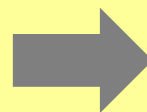


台湾2拠点
嘉義・桃園

日本3拠点
福島・郡山・真岡

<スペシャルガラス>

- ・国内生産拠点の拡充
- ・海外生産の開始



**安定的な供給体制
の構築**

台湾スペシャルガラス新工場の稼働開始（2021年8月）

- 日東紡初のスペシャルガラス・ヤーン（NEガラス）海外生産工場
- 顧客へサンプル提供を開始、早期の認証取得を目指す
- 広大なスペースに、将来の溶融炉増設スペースを確保
（新中計3年間でスペシャルガラス生産量を2021年3月末比、
ほぼ倍増とする計画）
- 会社名： NITTOBO ASIA Glass Fiber Co., Ltd
所在地： 台湾嘉義縣民雄郷
延床面積： 約20,000m²（地上2階建）

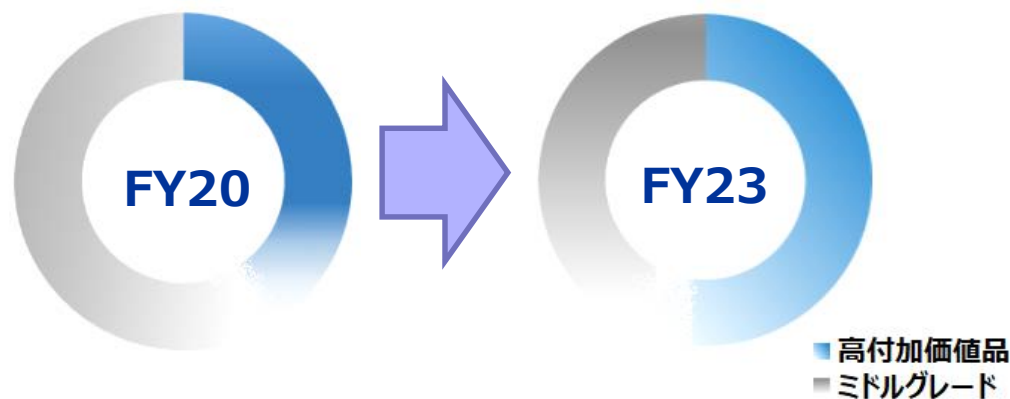


高付加価値品の売上構成比アップ

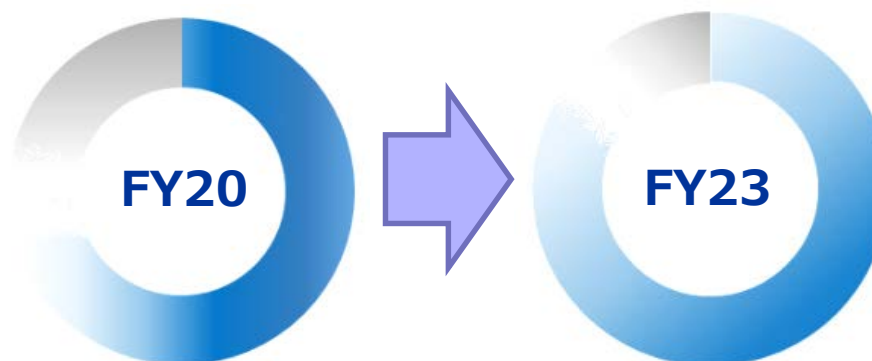
- 高付加価値品（スペシャルガラス・極細ヤーン・極薄クロス・フラットファイバー）の売上構成比を高める
- 次世代スペシャルガラスも売上に寄与開始

高付加価値品の売上構成

原織材



機能材



4. 成長テーマ

メディカル事業：体外診断用医薬品

メディカル事業：体外診断用医薬品

体外診断用医薬品（体外診断薬）とは？

- ✓健康診断や人間ドック、検診で使用される検査薬で、人体に直接使われず血液や尿などから健康状態を調べるもの。
- ✓血液、尿などに含まれる物質を検出することにより、病気の有無、進行の程度の測定や治療効果の判定などに使われる。

予防

診断

治療

- 感染症の広がり予防
- 健康維持・疾病予防

- 病気の早期発見・診断
- 的確で有効な治療法の選択

→ 予防医療のニーズの高まりに応え、
病気の発見から治癒まで携わる



ニットーボーメディカルの検査薬

メディカル事業（体外診断用医薬品）における強み①

「免疫のニッターボー」としての信頼獲得

免疫（血漿タンパク）系の体外診断用医薬品分野でトップクラスのシェア

免疫とは、体内に侵入した細菌やウイルスなどの病原体が、体内で悪影響を及ぼさないよう、体を正常に保つための働き。

病原体など異物（抗原）をもとに、体内に抗体が作られる。

- ✓ 免疫系診断薬は、**抗原抗体反応**を用いて、**血液中のタンパク**を調べる。
- ✓ 100にわたる検査項目を販売、多くの品目で国内トップシェアを獲得。

体外診断薬 ラインナップ^o (抜粋)

主な診断意義	項目名	主な診断意義	項目名
炎症	CRP	アレルギー	IgE
	IgG/IgA/IgM	リウマチ	MMP-3
	C3/C4		RF
糖尿病性腎症	尿中アルブミン	溶連菌感染症	ASO
糸球体濾過能	シスタチンC	鉄代謝	フェリチン
尿細管障害	β II マイクログロブリン	骨粗しょう症	TRACP-5b
栄養状態	PreALB/RBP/Tf	再発乳がん	CSLEX



メディカル事業（体外診断用医薬品）における強み②

診断薬の原料となる抗血清を安定供給

ヤギから抗血清を製造、ヤギの飼育数は米国でNo.1



アイオワ州の拠点



カリフォルニア州の拠点



メイン州の拠点

- ✓ 米国内に3か所のヤギ牧場兼工場を保有。
生物由来の体外診断薬原料の**安定供給・高品質維持**を実現。

メディカル事業（体外診断用医薬品）における強み③

グローバル・バリューチェーン

原料となる抗血清から体外診断用医薬品の最終製品に至るまで、
開発—製造—販売の一貫体制をグローバルに構築

抗原

抗体

抗血清

試薬開発

試薬製造

試薬販売

■ 抗血清の開発・製造・販売



ニッポーアメリカ
(カリフォルニア/アイオワ/メイン)

■ 体外診断用医薬品の開発・製造・販売

ニッポーメディカル
(福島県郡山市)

■ 原料の研究開発

リムコ（沖縄県うるま市）
カイコを利用した抗原開発



Kamiya（ワシントン）
海外販売網

フロンティア研究所（北海道石狩市）
大腸菌を利用した抗原開発



FAN（東京都）
高感度ラテックス試薬開発

メディカル事業（体外診断用医薬品）の成長に向けて

✓ グローバル・バリューチェーン戦略

✓ 開発戦略

□ 新技術・新製品開発

- 高感度ラテックス試薬強化開発
- 安定供給可能な抗原開発

✓ 営業戦略

□ 海外展開の加速

- グローバルメジャーとの連携強化
- アジアマーケット開拓
- ブランディング強化

□ 免疫系体外診断用医薬品（CRP, IgG4など）の更なるシェア拡大

□ 骨代謝マーカーの深耕

5. 環境課題への取り組み

環境への取り組み強化



■ 全社一元的に環境課題解決への取り組みを把握・推進

- ✓ 迅速な意思決定に繋げる「サステナビリティ推進委員会」を設置
- ✓ 環境目標を確実に達成

◇ サステナビリティ推進委員会

新中期経営計画における環境課題への取り組み強化のため、2021年4月1日に代表執行役社長を委員長とするサステナビリティ推進委員会を設置。

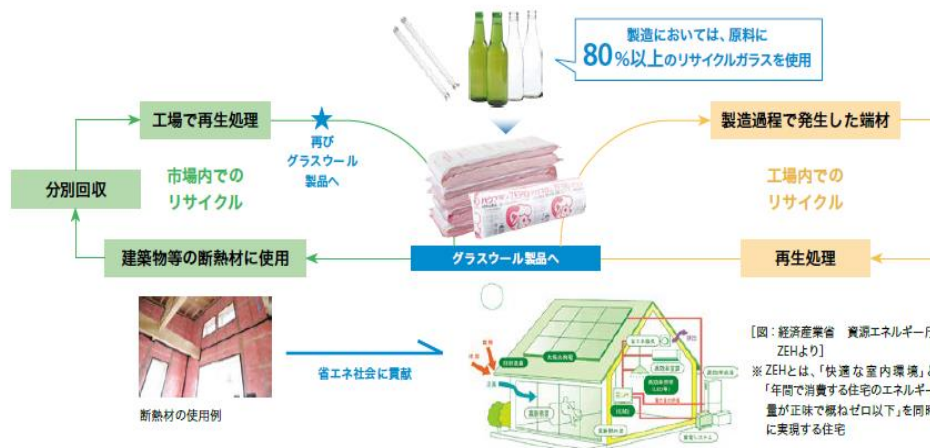
以下のテーマを中心に、課題解決に向けた基本戦略と行動計画の策定、実績評価、事業機会の探索等を行うとともに、必要に応じて迅速な意思決定を行う。

取り組みテーマ		
CO2排出量削減	リサイクル・リユーズの推進	環境配慮型新商品の開発

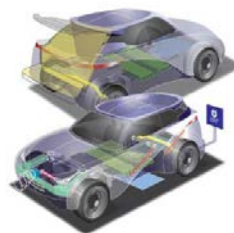
環境配慮型新商品の開発



■ **グラスウール**
住宅のエネルギー効率を向上させる断熱材で、リサイクルガラスを使用し、資源循環に貢献



■ **複合材**
軽量かつ高強度グラスファイバーを活用し、自動車・航空機など様々な部品の軽量化に貢献



繊維強化プラスチックを利用することで、総重量を軽減し燃費を向上させ、省資源化等地球環境問題の改善に寄与

■ **繊維・サステナビリティ製品**
再生原料使用による循環型製品や、地球環境に優しい芯地などの製品開発を推進



リサイクル繊維として世界最軽量クラスのナイロン使用



リサイクルポリエステル芯地 (再生原料使用)

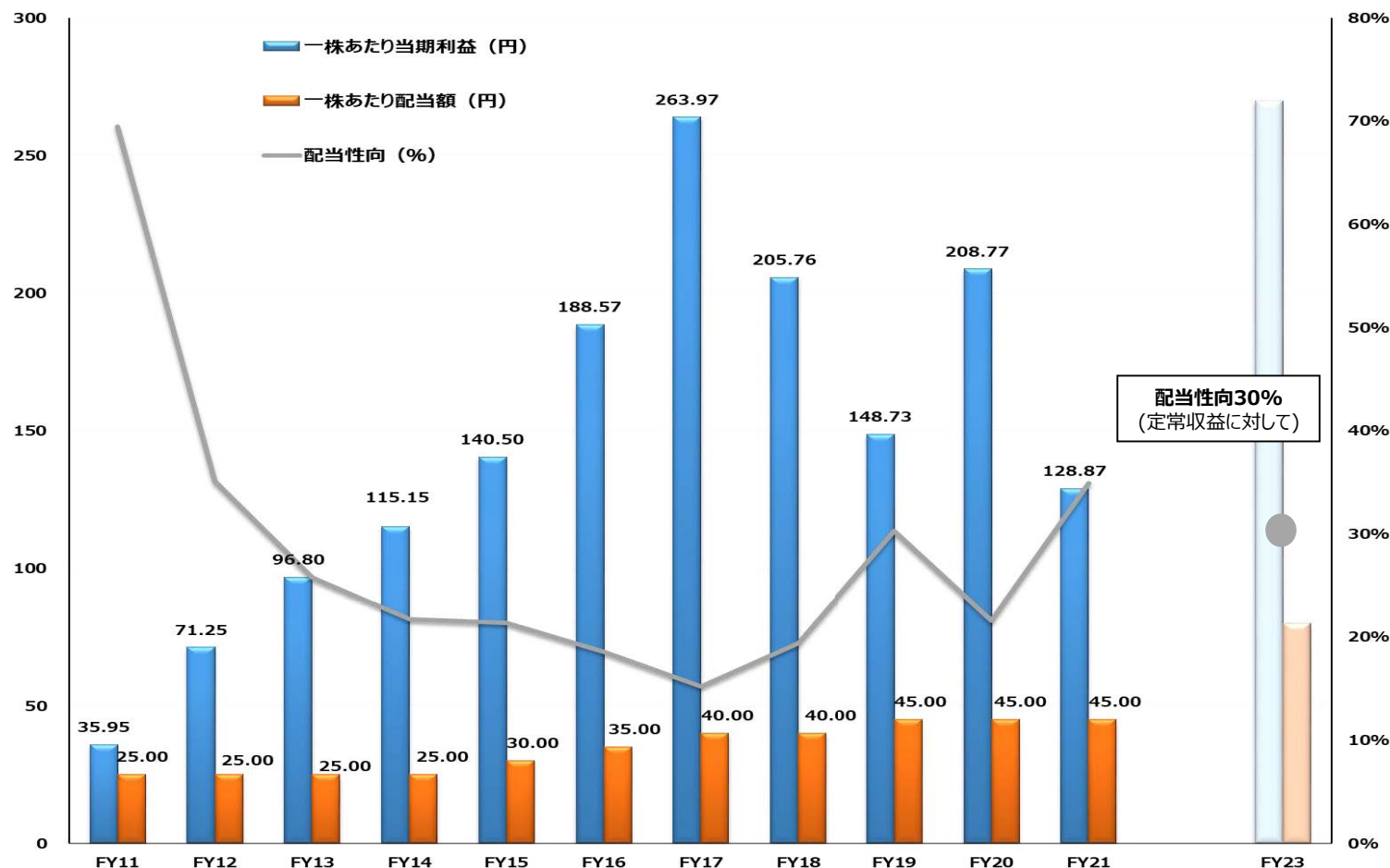


染色工程のない原着糸を使った芯地 (水・エネルギー有効活用)

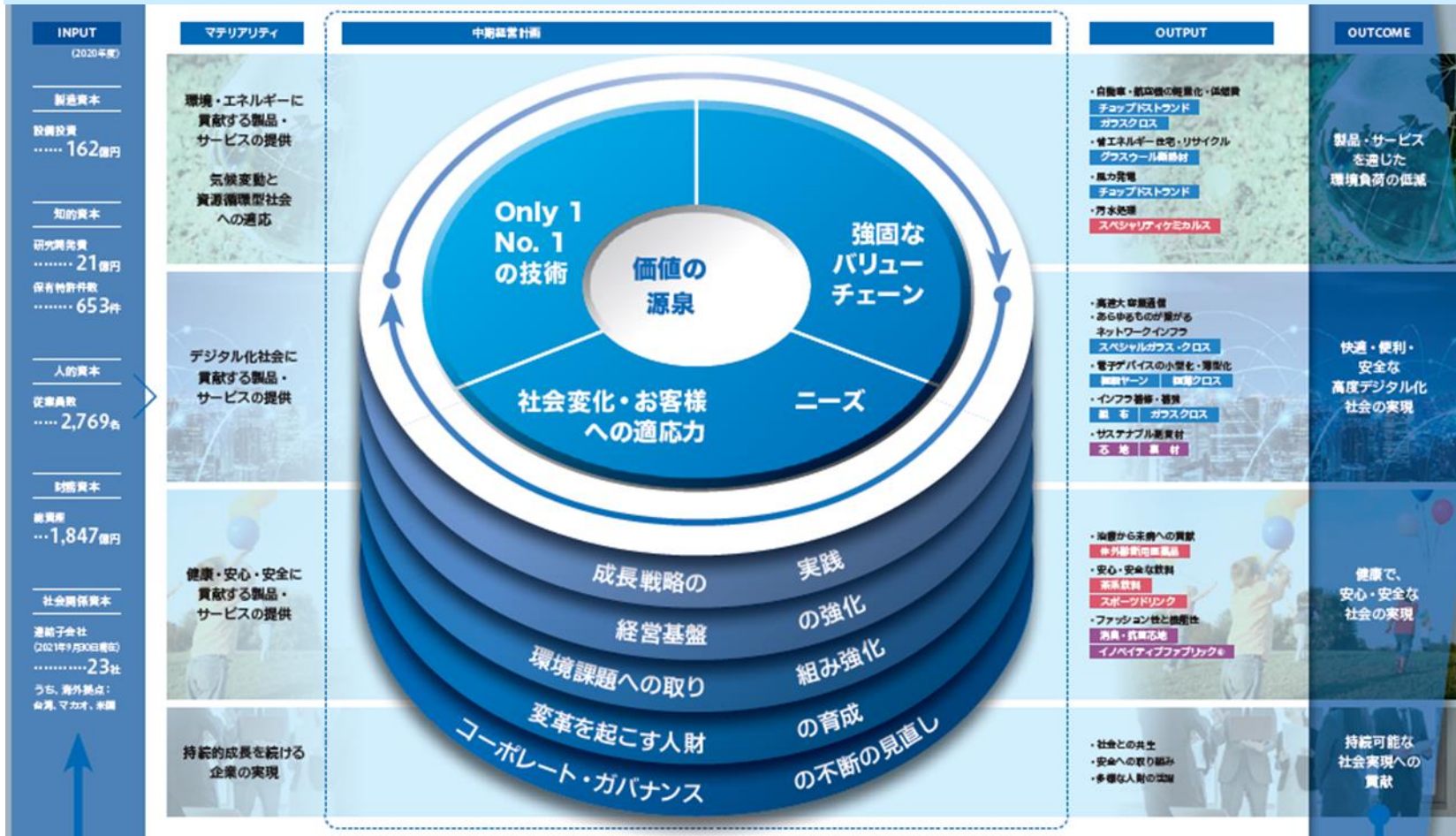
6. 株主の皆様へ 「夢とビジョンの共有」

株主還元方針

- 現在は、安定的な成長を重視した株主還元を実施。
- 中期的には、利益成長軌道に乗る2023年度以降、定常収益に対する配当性向30%を目安に株主還元を実施。
- 機動的・弾力的な株主還元も検討。



日東紡グループは「健康・快適な生活文化を創造する」企業集団として 社会的存在価値を高め、豊かな社会の実現に貢献し続けます。



株主の皆様とともに、
2030年にありたい姿『Big VISION 2030』
グローバルニッチNo.1を目指します。

本資料の取り扱いに関する注意事項

本資料に記載されている予想数値は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいるため、将来の業績数値や施策の実現を確約・保証するものではありません。潜在的なリスクや不確実性等の業績に影響を与え得る要因については、経済情勢、需要動向、為替変動、燃料価格の変動、新型コロナウイルスの影響等が含まれますが、これらに限定されるものではありません。

本資料の無断の転載や二次利用をお断りいたします。